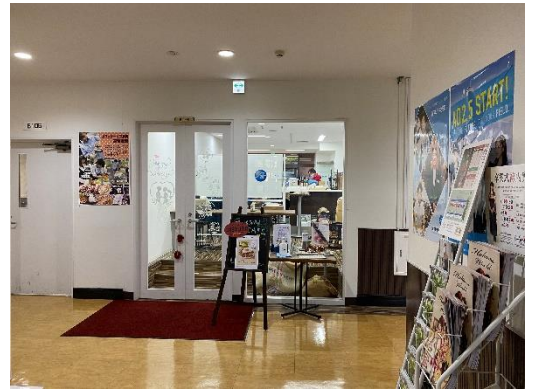


東京観光専門学校にて講義

昨日 秋晴れの下 都内の専門学校 葬儀学科の生徒さんにお話しをさせていただきました。私のあゆみを中心に葬儀の変遷 宗教学 当院の取り組み 現状等 話は多岐に渡りました。42歳の時に住職に就任して15年、檀家制度を廃止して10年の悪戦苦闘の日々を赤裸々に忌憚なくお伝えすることができました。私をもっとも心がけてきたことはお金のために仕事をしてこなかったこと。この仕事が誰よりも好きで愛していたこと。そして苦勞の連続でもそれでも楽しい日々だったこと。正直な思いを語ることができました。現在の心境はやり遂げたこと。応援して下さった人たちに心から感謝です。人間として大切なこと。謙虚さ。素直さ。感謝です。なかなか実行は難しいですがこれを守っていればあまり心配することはないと思います。この私の挑戦の歴史と苦闘に生徒さんからはたいへんな感動をしていただいたようです。帰り道 スマホを見ると続々と御礼メール、感動しました。とありかえってこちらが感動になりました。受講者のほぼ全員からのメールでした。先ほど 漸く返信が終わりました。若い人たちって本当にいいなあと思いました。こちらも勇気づけられ益々頑張らないとという気になっております。本当に幸せな毎日に感謝感謝です。これからたくさんの若い人たちが当院に就職したいと思っていただけましたら最高です。ゲストルーム アパートも用意してあります。朝食や昼食が提供されることも頻繁にあります。人間性重視のため変な人はいません。安心してご応募してください。最後に今月の21日(月) 午前九時開式で本堂屋根の葺き替え工事のための安全祈願式が執り行われます。来年2月末から3月上旬の完成予定です。この事業が成就しますと全体的に伽藍が統一感を持って構成されて格段に雰囲気が変わって厳かさは増すことかと思われます。長年の懸案事項が解決して本堂葬儀やその他各種催物が増えていくと思われます。どうかお楽しみにお待ちくださいませ。それが終わりますと第二会館となり家族葬ホール 食堂 カフェ 事務室 会議室 図書室 貸しオフィス ゲストルームを完備した総合会館へと計画を進めて参ります。こちらもご期待くださいませ。宜しく願い申し上げます。

令和4年11月19日

見性院住職



令和4年11月18日(金)

東京観光専門学校 葬儀学科 レジюме

講師 橋本英樹（見性院住職）

一、 見性院の業務内容

- 葬祭部門（霊柩車事業等）
- 霊園事業
- 本堂葬儀・法事
- 僧侶紹介
- 仏壇仏具コーナー
- 送骨（墓じまい相談）

一、 これからの寺院、これからの葬祭業（業界の動向）

一、 宗教とは何か。宗教者のあり方

一、 これから（次世代）の人たちへ期待すること

一、 その他

以上

メモ